

## Reader's VIEW

## 2017 Vol.3 特集「資質・能力を育む授業づくり」へのご意見

このコーナーでは、編集部に寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト (<http://berd.benesse.jp/>) でご覧いただけます。

◎特集にあった日本体育大学大学院・角屋重樹教授の「すべ」を育む声かけは、とてもよく分かる内容でした。特に若手教員は、授業で「それでは話し合いをしましょう。考えましょう」という発問をしがちだったので、これを資料として活用させていただきました。ベテラン教員の授業を見せる前に、この資料を読ませて授業参観の視点とさせたところ、非常に理解が進んでいたようでした。(広島県)

◎特集で紹介された福島県新地町の取り組みでは、「ICT活用ランドデザイン」が印象的でした。分かりやすい図であると同時に、学びとそれを支える要素とのかかわりが新鮮だと感じました。本校での研究において、ぜひ活用してみたい関係づけの方法だと思いました。(岩手県)

◎本村はキャリア教育に力を入れているので、宮崎県日南市立油津中学校の事例が参考になりました。「自ら『問い』を立てる」という視点は本村でも試行錯誤しているもので、NCP(日南コミュニケーションスキルプログラム)やGPS-Academicについて調べてみようと思います。(沖縄県)

◎神奈川県川崎市立東菅小学校の事例で紹介された「『すべ』を取り入れた授業①」にあるように、授業者が視点を明確化させること、関係づけさせることは中学校でも有効です。全教員がベクトルをそろえ、組織的に授業改善に取り組むこともポイントだと感じました。(島根県)

◎生徒はよく「道徳の授業は初めから答えが分かっているから、面白くない」と言います。かつては「正解」や「答え」という言葉が普通に使われ、それが道徳の授業を中身の無いものにしてしまったのだと思います。現在、道徳のみならず特別活動でも「納得解」(合意形成、着地点、調和、折り合い)がキーワードになっています。価値を教えるのではなく、価値観を交流し、思考を深めることが、教科化において一層求められてくると考えます。(北海道)

◎埼玉県越谷市立大沢小学校の事例で示された「道徳の時間(道徳科)のスタンダード」の図は、継続的に道徳教育研究に取り組みされてきた同校の貴重な成果だと思います。これを本町でも活用し、子どもたちの自己肯定感の向上に努めていきたいと思っています。(秋田県)

◎連載「学力向上へのステップ」で紹介された、岩手県北上市の小・中の教員が協働して学力調査の結果を分析する取り組みは、本地域でも実施しています。本地域では小・中学校ともに小規模校なので、「数字」の分析だけではあまり意味がなく、もっと質的な分析に重きを置きたいと考えています。そこで、この資料を小・中連携担当にも配布して、意識の改善を図りたいと思います。(北海道)

◎連載「アクティブ・ラーニング実践講座」の実践例を興味深く読みました。教職歴4年の東京都立川市立第九小学校・竹谷先生<sup>かほろ</sup>の頑張りが伝わってくるようでした。特に、授業の終わりに自作の手紙を読まれたところは、最先端の授業でありながら心温まる場面で、気持ちがほのぼのとなりました。(神奈川県)

◎連載「データで教育を読む」で紹介された「語彙力」と「アクティブ・ラーニング」との関係は、読んでいて「なるほど」と思いました。人に話すということは自分なりの言葉で伝えることでもあるので、語彙が増えていくのは当然です。少し考えればすぐに思い至りますが、こうしてデータで示されると、しっかりとした裏づけになります。(大阪府)

◎巻末記事「未来の教育を創る」の富山県高岡市の取り組みでは、伝統文化を通して不易と流行を融合させている教育が面白いと思いました。地域に根差した取り組みでもあるため、地域の方とのつながりも生まれます。また、小中一貫教育のため、異年齢集団での学び合いも可能です。価値のある取り組みだと感じました。(岐阜県)

## 編集後記

これまでの特集では、主に「教育内容」を取り上げてきましたが、今号では教育施策を実現するための「教育委員会のあり方」について考えてきました。事前アンケートからは、首長部局や国などからの様々な要請と学校現場の多忙化との板挟みで悩む教育委員会の様子うかがえました。また、村上准教授のお話から、教育委員会が実は廃止も検討されていたことに驚くとともに、各自治体への取材から、時代とともに教育と行政との関係が大きく変化してきていることを実感しました。(岡本)

## VIEW21 教育委員会版 2017 Vol.4 2018年3月1日発行/通巻第12号

発行人 山崎昌樹  
編集人 春名啓紀  
発行所 (株)ベネッセコーポレーション  
ベネッセ教育総合研究所

印刷製本 凸版印刷(株)  
編集協力 (有)ベンダコ  
執筆協力 二宮良太、長谷川教  
撮影協力 荒川潤、川上一生、藤木潤一、  
ヤマグチイキ

◎お問い合わせ先  
フリーダイヤル 0120-350455  
〒700-8686  
岡山市北区南方3-7-17